

会 議 録

会議名称	平成27年度第1回 大空町防災会議	
開催日時	27年12月22日(火)	10時00分から 11時00分まで
開催場所	大空町役場3階1号会議室	
出席者の氏名	<p>【大空町防災会議委員】</p> <p>山下英二会長(町長)、早坂保則網走開発建設部網走道路事務所長、吉田鶴亀網走開発建設部北見河川事務所長総務課長、古川啓介網走開発建設部網走農業事務所長、谷隆網走地方気象台次長、斎藤孝北海道農政事務所北見支局総括農政推進官、阿部知行網走南部森林管理署長、大村圭司東京航空局女満別空港出張所、碓実陸上自衛隊美幌駐屯地第101特科大隊第3係主任、原義洋オホーツク総合振興局地域政策課主査、田邊潤二オホーツク総合振興局網走建設管理部事業課長、畠山達也オホーツク総合振興局保健環境部企画総務課長、本田貴之北見方面網走警察署警備課警備係長、黒田路人大空消防署長、岩原繁弘女満別消防団長、久野秀次東藻琴消防団副団長、保井大北海道電力(株)網走営業所お客様センター課長、釜菴弘幸東日本電信電話(株)北見支店主査、高山正一女満別中央病院事務部長</p> <p>【大空町】</p> <p>川口明夫副町長、藤田勉総務課長、菊地教男総合支所長、松川一正総務課総務グループ主幹、稲川浩司総務課総務グループ主幹、旭敏男防災担当専門員</p>	
傍聴者の数	傍聴者なし	
会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ●大空町防災会議議案 ●資料【資料No.1、2】 	
審議内容及び結果	別紙「大空町防災会議記録」のとおり	

大空町防災会議記録

会長（町長）：12月に入り穏やかな天候が続いているところである。振り返ると、昨年12月から今年にかけての冬期間は毎週のように低気圧がオホーツク地域に接近・通過して暴風雪・大雪による被害もたらされた。

本町においても、災害対策本部や災害対策連絡本部を立ち上げ警戒にあたった。その節には関係機関の皆様にご協力をいただいたことに感謝を申し上げる。

また、10月には台風第23号から変わった温帯低気圧が勢力を落とすことなく北海道に接近した。1日総雨量が200mmに迫るといった、近年例のない雨量となったところである。

大空町内においては、道路、河川、農地などが台風による被害を受け、現在復旧作業を行っているところである。

10月の災害では、北海道の管理河川である女満別川・サラカオーマキキン川の2河川の堤防の一部が決壊するという事態になり、町として災害対策本部を設置し、避難指示・避難勧告を発令した。

このような対応については、大空町の地域防災計画等の規定に則り行ったところである。このような大きな災害など全国的に様々な実例があり、そのような実例を踏まえて防災に対する備えを国全体として高い精度を追及していかなければならない。そのような中で町の地域防災計画の見直しを行っていかなければならない。

今回の地域防災計画の見直しについて、関係機関に諮り様々な立場からご指導を頂けるような会議にしたい。内容については担当から説明を加えながら進めさせていただく。

事務局（総務課）：本日出席委員22名中出席者21名。出席者21名のうち代理による出席9名。欠席者1名。

事務局：議事進行については会長が議長となつて行う。

議長（会長）：本日たくさんの方のご出席に対して感謝申し上げます。議案に沿って会議を進める。

事務局：（１）大空町地域防災計画の変更について説明（概要説明、新旧対照表）

議長（会長）：地域防災計画における関係機関として質疑、意見、確認したい事項等あれば伺いたい。関係機関の皆様には置かれましては他の市町村の防災会議にも参加されている方も多いと思うので、他の市町村の事例等を踏まえての意見等でも良いので伺いたい。

委員：質疑、意見なし

事務局：（２）大空町水防計画の変更について説明（概要説明、新旧対照表）

議長（会長）：大空町においては、一級河川である網走川・網走湖、北海道管理河川、町管理河川といった河川も多い。10月の台風第23号でも被災しているということで、重要な防災に関する内容であると受け止めている。この機会に皆様からのご指導を頂ければありがたい。

委員：質疑、意見なし

議長（会長）：特になければ、大空町水防計画の変更について、議案のとおり改正することとして良いか。

委員：了承。

議長（会長）：議事である計画の変更についてはご了承頂いたということで進めさせていただく。

今後、パブリックコメントを受けて、また皆様にお諮りする機会を作りながら、町として最終決定し、町民の皆様には周知する。

あわせて、要配慮者（避難行動要支援者）の皆様には同意を頂いて作成した避難行動要支援者名簿を避難支援等関係者の皆様には配付するという流れになる。

事務局：本会議においては特に意見等はなかったが、会議終了後、今回の計画変更内容について不都合な点やご意見等、お気づきの点がありましたら、パブリックコメント開始前に総務課総務グループに連絡

をいただきたい。

パブリックコメントは1月15日から開始予定なので、1月8日までに連絡をいただきたい。

議長（会長）：それぞれ各機関に持ち帰り、ご担当の皆様も目を通していただき、お気づきの点があればパブリックコメント開始前に事務局に連絡をいただきたい。

本日の議事については終了する。

関係機関が集まる機会なので、この際に関係機関の状況やご意見等あればご発言いただきたい。

議長（会長）：発言等なければ、一点、可能性について伺いたい。

大空町の河川の観測所について、一級河川である網走川（本郷・川尻漁場）のほか、住宅密集地を流れるトマップ川（北海道管理）に水位計が設置されている。

しかし、10月の台風第23号による暴風雨の影響で河川増水により破堤したのは、北海道管理河川である女満別川とサラカオーマキキン川であった。

破堤した周辺に人家が少なく、避難指示・避難勧告の対象世帯は少なかった。

両河川には水位観測所が設置されていないことから、目視による観測で、警戒していたところである。

今後、北海道管理河川に水位観測所の整備を町としてお願いをしていく動きを考えている。実際に可能性というところはあるのかどうか？

他のオホーツク管内河川でも被災した箇所はあったのではないかと考えているので、そのような地域の声はあるのではないかと？

委員：北海道オホーツク総合振興局網走建設管理部 田邊事業課長

新たに観測所を増やすのは難しい。また水位の基準を設定するのは難しい。

女満別川とサラカオーマキキン川については今回の被災を受けて、簡易的な水位計を設置して基準を設けて監視を続けているところである。

実際、正式な基準を設けていくとしてもなかなか難しいが、町の意向もあるので、検討していきたい。（北海道水防計画の変更

が必要)

議長（会長）：今回は女満別川とサラカオーマキキン川の破堤があったが、現状として、女満別川、サラカオーマキキン川、東藻琴地区の藻琴川については堤防が整備されていないところがある。

堤防が設置されていないところの監視・観測体制をどのようにしたらよいか、住民に被害が及ぶような危険があるか、避難指示・勧告等の判断基準が不十分であると思っている。

そのような箇所は北海道などのご指導をいただきながら基準というものを考えていかなければならない。今後ともご指導をいただきたい。

議長（会長）：以上で本日の会議を終了します。

会議前段でも申し上げたが、冬期間の暴風雪・大雪の場合、自宅の中や避難先で身動きが取れないといった状況も出てくる。このような時にどのような手段で住民広報を行うか大変重要であると考えている。地域防災計画の見直しはもとより、日常の個別の災害対応にも意を払って努力する。

関係機関の皆様にも、引き続き様々な場面でご指導・ご協力をお願いしたい。

終了 11:00